

# 12月11日（月）見えなくとも

とうきょう かいがいしき  
東京パラリンピックの開会式で、  
こっか うた  
国歌を歌った人を覚えていますか。  
ぜんもう  
全盲のシンガー・ソングライター  
さとう  
佐藤ひらりさんでした。さとう  
佐藤ひらり  
さんは、いま ゆめ  
今でも、夢をどんどんかな  
えているようです。

さとう いま わたし  
佐藤さんは「今の私があるのは、  
め み  
目が見えていなかったから」と  
はな  
話します。

さとう う め み かあ みみ  
佐藤さんは、生まれつき目が見えません。お母さんは、「耳  
はきつといい」と、おもちゃのがっき か  
楽器を買いあたえたり、CD  
をき  
きかせたりして、そだ  
育てました。

「そのおかげで、『おんがく からだ いちぶ』になりました。め  
み  
見えていたら、わたし うた おも わたし  
私は歌っていないと思います」「私には  
み  
見えないからできることがたくさんある。しょう ひと  
障がいのある人と  
であ なかみ み はな あ とも  
出会ったら、中身を見て。おたがいに話し合っ、友だちに  
なれたらいいなとおも  
思います」と、さとう はな  
佐藤さんは話しています。

村越 新

